

令和 7 年度 第 4 回 運営会議ニュース

日 時	令和 7 年 1 1 月 9 日（日） 13：30～15：15
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター（レクチャールーム）
出 席 者	15 名

～議題～

各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

・9月21日：一般参加者 13 名。シダと土壌の小生物の観察。田んぼに行き、イネの根元に生えているヒメミズワラビ（シダ）を観察。このシダは神奈川県では絶滅危惧種。水田や沼地を好む一年草で冬には枯れてしまう。長屋門近くでは、なくなりかけたカタヒバが株立ち出来るように大きくなっていた。キブシの木の下には、ワカメを連想させるコウヤワラビを観察。水鳥の池近くにどちらの面も美しく見えるリョウメンシダの一群れが観察出来た。コナラ・クヌギ観察林では土壌小動物の調査をする。落ち葉をのけながら小動物を採取してもらった。今回、A グループ（人為的環境変化に対する耐性が低くすぐにいなくなる）のヤスデ、ジムカデが採取され、公園が「自然が豊か」であるグループにたどりついていた。

・10月19日：一般参加者 7 名。テーマは「いろいろな葉っぱを探そう」。カリンの葉の鋸歯や葉脈をよく観てもらう。クワの葉はいろいろな形をしている。分裂葉に側主脈が出来ている。ミズキ科の葉は葉脈が上に向かいカーブしているのが特徴。コクサギの葉の油点を観察。葉を裂いたり揉み匂いを嗅いでもらう。また、トチノキの冬芽のネバネバにも触れてもらう。園路にはどんぐり（コナラ、シラカシ等）の実がたくさん落ちていた。クリもどんぐりの一種である。シャガはアヤメ科の植物。株立ちの仕方や葉の付き方を観察した。ケンボナシの近くに山菜の女王、タラノキの葉の仕組みを見てもらい二回羽状複葉の名を伝えた。長屋門をくぐり今日の纏めをする。今回は参加者全員に感想を聞いて見た。油点が印象に残った、楽しかったとの言葉があった。

●ふるさとフォーラム座間

・座間の森（ハナショウブ）の移植を 10 月に行い、今のところ順調に根付いている。次回は 12 月に作業を行う予定。

●さがみシェアリングネイチャーの会

・今年からふれあい広場で開催される座間谷戸山公園まつりでは、ネイチャーゲームも会場を移して行います。メインの会場が里山体験館前ではないので注意してください。

●座間のホタルを守る会

・南谷戸（棚田）の維持管理について、春から秋にかけての草の繁茂状況を説明。今年の草の茂りが異常であったことに加え、座間のホタルを守る会の高齢化が進み水路の維持管理が精いっぱいになってきているため、維持管理についての検討依頼があった。

●運営会議会長

・南谷戸（棚田）について、2008 年の造成から土砂流出や雨水貯留等が目的であった経緯が説明される。また、水鳥の池や湿生生態園等の景観維持のための草刈り維持管理について要望があった。

その他

●県厚木土木事務所東部センター

・令和 7 年度の事業について、進捗状況等（デッキ園路・手すり改修、園路舗装、ナラ枯れ伐採等他）の報告あった。

●公園

・11 月 26 日（水）に実施される山林火災対応訓練（座間市消防本部）、及び水鳥の池の掻い掘りについて説明、意見交換を行った。

次回開催日時	令和 8 年 1 月 1 1 日（日） 13：30～15：00
--------	---------------------------------